総合	第１学年	安芸太田町立加計中学校	指導者　山本　康美

「よさこいプロジェクト２２」
～よさこいを知ろう，広めよう，深めよう～

本単元で育成する資質・能力　論理的・建設的批判能力，自らへの自信，主体性・積極性

１　年間指導計画における本単元の位置づけ

「よさこいプロジェクト２２」　　３５時間
よさこいプロジェクトチームで課題解決しよう　　よさこいプロジェクト報告会をしよう 神楽よさこいをマスターしよう　　三中合同文化祭で発信しよう

２　単元の概要

（１）　単元の目標

○「よさこい」のルーツや疑問に思ったことを調べ，他者と協働して課題を解決する力を育てる。

○ 地域で活躍されている「神楽よさこい」のメンバーとの交流を通して学んだことや感じたことを「神楽よさこい」の魅力として発信することができる。

（２）　単元で育てようとしている資質や能力及び態度

【学習方法に関すること】

② 論理的・建設的批判能力

・よりよい解決を目指して論理的・建設的に考え，表現し行動している。

【自分自身に関すること】

④ 自らへの自信

・目標に向かって練習し，向上するとともに学んだことをもとに意欲的に堂々と表現している。

【他者や社会とのかかわりに関すること】

⑤ 主体性・積極性

・課題解決に向け，自らの考えを進んで表現したり，仲間や地域の方々と自ら関わりながら活動している。

（３）　単元で学ぶ内容

・よさこいプロジェクトチームで課題解決しよう

・よさこいプロジェクト報告会をしよう

・神楽よさこいをマスターしよう

・三中合同文化祭で発信しよう

（４）　本校が育成しようとする資質・能力とのかかわり

育成したい能力は，①コミュニケーション能力　②論理的・建設的批判能力　③回復力・耐える力　④自への自信　⑤主体性・積極性　　⑥高い志の６つである。本単元では，地域の方が体力づくりのために地域でオリジナルにつくられ，継承しておられる「神楽よさこい」を学ぶ活動を通して，生徒たち自身が持つ疑問を生徒たち自身が調べ，解決していくことで「神楽よさこい」の魅力を多くの方に発信する中で ②論理的・建設的批判能力　④自らへの自信　⑤主体性・積極性を向上させることができると考える。

３　単元の評価規準

評価の観点	学習方法	自分自身	他者や社会の関わり
単元の評価規準	論理的・建設的批判能力	自らへの自信	主体性・積極性
	・他のグループの発表の良さや改善点を考え，表現している。 ・もらった意見をもとに改善策を考え，行動しようとしている。	・「よさこい」について調べ，練習したことをもとに，自らの役割を果たし，意欲的に堂々と表現している。	・自らの考えを進んで表現しながら，仲間とともに課題解決を行っている。 ・自ら積極的に地域の方と関わりながら行動している。

４　指導と評価の計画（全３５時間）

次	学習内容	時数	評価の観点 学	自	他	評価規準〔評価方法〕【資質・能力】
一	課題設定 1　先輩たちの「神楽よさこい」ＤＶＤを観る。 2 よさこいプロジェクト２２のミッションを知る。 3　よさこいのことをどれだけ知っているのか？を出し合う。 ・よく知らない。→・ＰＲできない。	1			○	・これからの学習の見通しを持ち，自分の考えを話そうとしている。 （行動観察）【主体性・積極性】
	よさこいの疑問を出し合って、プロジェクトチームを作ろう					
	情報の収集 1　個人でよさこいについて「なぜ？」「どうして？」「知りたい！」を付箋に書き出す。 2　班で，付箋を共通するもの，やってみたいもので整理する。	1			○	・自分たちが解き明かしたいよさこいの謎をたくさん出している。 （行動観察） 【主体性・積極性】
	整理・分析 1　座標軸を使ってクラス全体で情報を整理する。 2　分類したプロジェクトごとにチームを作り，課題を明らかにする。	2	○			・仲間と意見を出し合いながら課題を設定し，チームを決めている。（行動観察・ワークシート） 【論理的・建設的批判能力】

二	**よさこいプロジェクト報告会をしよう**					
	情報の収集　整理・分析 1　７つのプロジェクトチームごとに調査したことを報告会で提案発表する準備を行う。 ・書籍, インターネット調査 ・インタビュー, 電話取材など 2　「よさこいプロジェクト報告会」の目的を確認し，役割分担を行う。 3　５分のプレゼンテーションとして，２グループずつで中間発表を行う。	6			○	・仲間と共に自分たちのプロジェクトの課題解決を主体的に行っている。（行動観察・発表資料） 【主体性・積極性】
	まとめ・創造・表現 1「よさこいプロジェクト報告会」を行う。	1	○			・他グループの発表の良さを伝えたり，もっと良くするアイディアを伝えたりすることができる。〔行動観察・付箋〕 【論理的・建設的批判能力】
	振り返り 1　報告会でもらった意見をもとに三中合同文化祭用にグレードアップするプランを考える。 ・修正方法は？・追加情報は？ ・焦点化は？	1	○			・報告会でもらった意見を整理して，自分たちのプロジェクトを見直している。（行動観察・ワークシート） 【論理的・建設的批判能力】
三	**よさこいプロジェクトを完成させよう**					
	情報の収集　整理・分析 1　グループごとにグレードアッププランを実行し，追加修正をする。	6			○	・計画を立て，見通しをもって，進み方を確認しながら，仲間と共に課題解決を行っている。 （行動観察・ワークシート）【主体性・積極性】
	まとめ・創造・表現 1　他のグループに向けてプレゼン発表する。	2		○		・これまでの学習をいかして相手意識を持って, はっきり発表している。 （行動観察・評価シート）【自らへの自信】

	課題設定 ・三中合同文化祭で披露する「神楽よさこい」をかっこよく表現するには，どうしたらよいか。 1　神楽よさこいメンバーのＤＶＤと先輩たちのＤＶＤを比較する。 2　かっこよさのポイントを全体で出し合い，共有化しておく。	1			○	・「神楽よさこい」をかっこよく表現するポイントを見つけている。 （行動観察） 【主体性・積極性】
	神楽よさこいのメンバーから指導を受けながらマスターしよう					
四	情報の収集　整理・分析 1　「神楽よさこいメンバー」に直接指導をしていただく。 2　かっこよさプロジェクトチームを中心に練習計画や１時間ごとの目標，振り返りを全員で確認して進める。 3　自分たちの姿をビデオ撮影して，かっこよさのポイントにそって自分たちの課題を見つけ，修正しながらレベルアップする。	6 1			○ ○	・地域の方と積極的に関わりながら神楽よさこいをマスターしようとしている。（行動観察） 【主体性・積極性】 ・プロジェクトリーダーの提案を理解して踊っている。（行動観察・ワークシート） 【主体性・積極性】 ・先輩からもらったアドバイスをもとに改善策を考え，表現を良くしようとしている。 （行動観察） 【論理的・建設的批判能力】
	まとめ・創造・表現　振り返り 1　文化祭に向けて先輩たちの前で中間発表を行い，もっと良くなるアドバイスをもらう。 2　良い点と改善点の付箋を整理する。 3　先輩たちからもらった意見をもとに修正案を考え，かっこよさプロジェクトチームごとに実行プランをつくる。		○			
	整理・分析 1　自分たちで立てた実行プランで練習をする。 2「神楽よさこいのメンバー」に披露して最終アドバイスをもらう。	4		○		・「神楽よさこい」の完成に向けて，自分たちで計画立てた練習を進めている。（行動観察） 【自らへの自信】
五	まとめ・創造・表現 1　三中合同文化祭で保護者や地域の方に向けて発表する。	1		○		・これまでの学習をいかして相手意識を持って，のびのびと発信している。（行動観察）

	・「よさこいプロジェクト」ポスターセッション報告する。 ・見学者にフリップボードで意見をもらう。 ・「神楽よさこい」を披露する。 振り返り １　よさこいプロジェクト２２を振り返り,学んだことや感じたことをレポートでまとめる。	2		○		【自らへの自信】 ・これまでの学習を通して感じたことや身に付いた力を地域の中でどう生かすことができるか述べている。 （行動観察・レポート） 【自らへの自信】

５　本時の学習指導について

（１）本時の目標

〇よさこいプロジェクト２２の見通しを持つことができる。

（２）本時の評価規準

〇これからの学習の見通しを持ち，自分の考えを話そうとしている。

（３）本時の展開（１／３５時間）

過程	学習活動	指導上の留意点（◆支援を必要とする生徒への手立て）	評価規準〔評価方法〕【資質・能力】
導入	１　先輩たちの「神楽よさこい」ＤＶＤを観て，感想や疑問を交流する。	・毎年，加計中１年生が文化祭で披露する「神楽よさこい」の歴史を話し，生徒たちの感想や疑問を出させる。	
	目標）よさこいプロジェクト２２のゴールイメージを持って進めよう。		
展開	２　よさこいプロジェクト２２のミッションを知る。		
	ミッション　安芸太田町でつくられた「神楽よさこい」の魅力を知り，加計中生として，その良さを多くの人にＰＲしよう。		
	３　よさこいのことをどれだけ知っているのか？を出し合う。 ・よく知らない。→・ＰＲできない。	・よさこいのことを知らないとＰＲすることができないことを生徒に自覚させる。	・これからの学習の見通しを持ち，自分の考えを話そうとしている。 （行動観察）【主体性・積極性】
まとめ	４　次時の内容を確認し，本時を振り返る。	・課題に出会った感想を書き留めさせる。	

（1）本時の目標

〇よさこいの「なぜ？」「どうして？」を出し合うことができる。

（2）本時の評価規準

〇自分たちが解き明かしたいよさこいの謎をたくさん出している。

（3）本時の展開（２／３５時間）

	学習活動	指導上の留意点（◆支援を必要とする生徒への手立て）	評価規準 〔評価方法〕 【資質・能力】
導入	1　本時のねらいを確認し，見通し **目標）よさこいの謎を出し合おう。**		
展開	2　個人でよさこいについて「なぜ？」「どうして？」「知りたい！」と思うことを付箋に書き出す。 3　班で，付箋を共通するもの，課題を解明してみたいもので整理しする。	・生徒のなぜ？どうして？という疑問を大切にして，たくさんの考えを出させる。 ◆例を出して，見本を示す。 ・各班ごとに付箋紙に書いた考えを座標軸を使って整理させる。 ◆なぜ，そう思ったのか理由を説明させながら整理させる。	・自分たちが解き明かしたいよさこいの謎をたくさん出している。 （行動観察） 【主体性・積極性】
まとめ	4　次時の内容を確認し，本時を振り返る。	・特に気になった謎について一つを取り上げて，その理由を書いておく。	

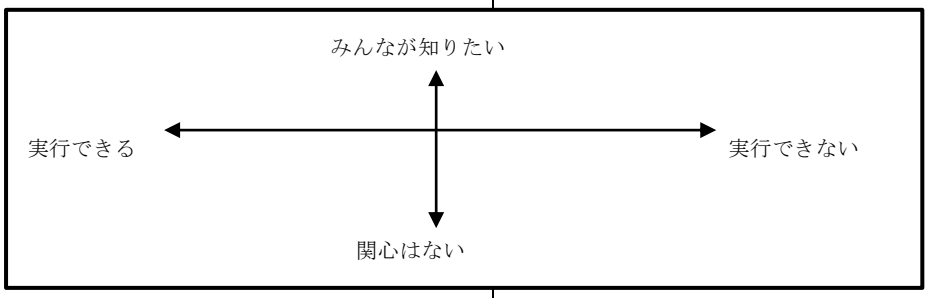
（１）本時の目標

〇学級全体でよさこいの課題を設定し，チームを決定することができる。

（２）本時の評価規準

〇仲間と意見を出し合いながら課題を設定し，チームを決めている。

（３）本時の展開（３・４／３５時間）

過程	学習活動	指導上の留意点（◆支援を必要とする生徒への手立て）	評価規準〔評価方法〕【資質・能力】
導入	１　本時のねらいを確認し，見通しを持つ。 **目標）よさこいプロジェクトチームを決めよう。**		
展開	２　クラスで，よさこいの謎を座標軸を使って整理する。  	・前時に分析した班ごとの模造紙を使いながら意見を出し合う。	・仲間と意見を出し合いながら課題を設定し，チームを決めている。（行動観察・ワークシート）【論理的・建設的批判能力】
	３　整理した意見ごとにプロジェクトチームをつくる。	・よさこいの歴史のカテゴリーと神楽よさこいをＰＲするカテゴリーに大きく分け，そこから分化してグループを考えさせる。	
	４　プロジェクトごとにチーム分けをして，テーマとコンセプトを決める。	・７グループ３～４名のチームで具体的なテーマとゴールイメージを共有させる。	
	５　調べる方法について考えを出し合う。 ・インタビュー（出向く，電話，ＦＡＸ） ・書籍　・インターネット ・アンケート	・これまでやってきた方法や可能な方法を出し合わせる。	
まとめ	６　次時の内容を確認し，本時を振り返る。	・グループ全員で本時のまとめを書かせ，次時からの流れを確認させる。	

（1）本時の目標

〇プロジェクトチームで協働的に問題解決できる。

（2）本時の評価規準

〇仲間と共に自分たちのプロジェクトの課題解決を主体的に行っている。

（3）本時の展開（５・６・７・８・９・１０／３５時間）

<table>
<tr><th>過程</th><th>学習活動</th><th>指導上の留意点（◆支援を必要とする生徒への手立て）</th><th>評価規準
〔評価方法〕
【資質・能力】</th></tr>
<tr><td rowspan="2">導入</td><td>1　本時のねらいを確認し，見通しを持つ</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">目標）プロジェクトチームごとに課題解決し，報告会の準備をしよう。</td></tr>
<tr><td></td><td>2　６時間の計画を立てる。</td><td>・ワークシートに１時間ごとの内容とゴールを具体的に計画させる。</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">展開</td><td>3　７チームで課題解決を行う。
1「神楽とよさこいの特徴は？なぜ，コラボしたのか謎に迫る！」
2「よさこいのルーツを探ろう！」
3「よさこいマップづくり」
4「鳴子の秘密を探り，オリジナル鳴子を提案しよう！
5「オリジナルよさこいＴシャツと髪飾りを提案しよう！」
6「オリジナルよさこいメイクを提案しよう！」
7「神楽よさこいＰＲポスターを提案しよう！</td><td>・１チームに一人の担当教員が付き，生徒が相談しやすい環境をつくる。
・各チームで１時間ごとの振り返りを行わせる。
・情報収集→整理・分析の流れを意識させてから活動をする。</td><td>・仲間と共に自分たちのプロジェクトの課題解決を主体的に行っている。
（行動観察・発表資料）
【主体性・積極性】</td></tr>
<tr><td>4　「よさこいプロジェクト報告会」の目的を確認し，役割分担を行う。</td><td>・目的意識を持って準備させる。</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">目的　自分たちが調べたり,提案する「よさこいプロジェクト」を評価してもらってより良い完成に近づける意見をもらうため。</td></tr>
<tr><td>5　５分のプレゼンテーションとして，２グループずつで中間発表を行う。</td><td>・４人の教員，４つの教室を使う。
・話し方と内容のそれぞれに対して良かった点と改善点を色の違う付箋にメモしてお互いにアドバイスする。</td><td></td></tr>
<tr><td>まとめ</td><td>6　次時の内容を確認し，本時を振り返る。</td><td>・次時のプレゼン発表に必要なことを書かせる。</td><td></td></tr>
</table>

（1）本時の目標

〇よさこいプロジェクト報告会でグループで調べたことや提案を伝え合い，もっとよくなるアイディアを出そうとしている。

（2）本時の評価規準

〇他グループの発表の良さを伝えたり，もっと良くするアイディアを伝えたりすることができる。

（3）本時の展開（１１／３５時間）

過程	学習活動	指導上の留意点（◆支援を必要とする生徒への手立て）	評価規準 〔評価方法〕 【資質・能力】
導入	1　「よさこいプロジェクト報告会」のねらいを確認し，見通しを持つ。	目的意識　グループで調べたり,提案する「よさこいプロジェクト」を評価してもらい,よりよい完成に近づく意見をもらうため。 相手意識　クラスメイト,「神楽よさこい」メンバー,先生	
	目標）報告会で自分たちの調べたことや提案を伝え合い，もっとよくなるアドバイスを出し合おう。		
展開	2　グループごとに発表し，もっとよくなるアドバイスを出し合う交流を行う。 発表順番 1「神楽とよさこいの特徴は？なぜ，コラボしたのか謎に迫る！」 2「よさこいのルーツを探ろう！」 3「よさこいマップづくり」 4「鳴子の秘密を探り，オリジナル鳴子を提案しよう！ 5「オリジナルよさこいＴシャツと髪飾りを提案しよう！」 6「オリジナルよさこいメイクを提案しよう！」 7「神楽よさこいＰＲポスターを提案しよう！	・前半１～３グループの発表後に交流し，後半４～７グループの発表後に交流する。 ・他のグループや地域の「よさこいメンバー」の方々に感想・質問・アドバイスをもらう。 ◆各プロジェクトの発表を聞きながら，感想・質問・アドバイスの付箋を書き，それをもとに交流する。どれか１枚は，必ず書くように支援する。	・他グループの発表の良さを伝えたり，もっと良くするアイディアを伝えたりすることができる。〔行動観察・付箋〕 【論理的・建設的批判能力】
まとめ	3　次時の内容を確認し，本時を振り返る。	・次時以降にいかせるように，発表して感じた課題や疑問を書かせる。	

（１）本時の目標

〇報告会でもらった意見をもとに自分たちのプロジェクトの改善策を考えることができる。

（２）本時の評価規準

〇報告会でもらった意見を整理して，自分たちのプロジェクトを見直している。

（３）本時の展開（１２／３５時間）

過程	学習活動	指導上の留意点（◆支援を必要とする生徒への手立て）	評価規準 〔評価方法〕 【資質・能力】
導入	１　本時のねらいを確認し，見通しを持つ。 **目標）報告会でもらった意見をもとに自分たちのプロジェクトを見直そう。**		
展開	２　報告会でもらった意見を書いた付箋を模造紙に整理する。 ３　報告会でもらった意見をもとに三中合同文化祭用にグレードアップするプランを考える。 ・修正方法は？ ・追加情報は？ ・焦点化は？	・課題となる意見を修正できる案とできない案に整理するとともに，何を修正するべきかを話し合う。 ・具体的にどう修正，追加していくか模造紙に書き出させる。	・報告会でもらった意見を整理して，自分たちのプロジェクトを見直している。（行動観察・ワークシート） 【論理的・建設的批判能力】
まとめ	４　次時の内容を確認し，本時を振り返る。	・グループ全員で本時のまとめを書かせ，次時からの流れを確認させる。	

（１）本時の目標

〇完成に向けて，プロジェクトチームで協働的に問題解決できる。

（２）本時の評価規準

〇計画を立て，見通しをもって，進み方を確認しながら，仲間と共に課題解決を行っている。

（３）本時の展開（１３・１４・１５・１６・１７・１８／３５時間）

過程	学習活動	指導上の留意点（◆支援を必要とする生徒への手立て）	評価規準 〔評価方法〕 【資質・能力】
導入	１　本時のねらいを確認し，見通しを持つ。		
	目標）プロジェクトチームごとにさらなる課題解決をし，プロジェクトを完成させよう。		
展開	２　６時間の計画を立てる。 ３　グループごとにグレードアッププランを実行し，追加修正をする。	・ワークシートに１時間ごとの内容とゴールを具体的に計画させる。 ・１チームに一人の担当教員が付き，生徒が相談しやすい環境をつくる。 ・各チームで１時間ごとの振り返りを行わせる。 ・整理・分析→まとめの流れを意識させてから活動をする。 ・まとめとして，一人一人の学びを整理して，自分の言葉で表現させる。	・計画を立て，見通しをもって，進み方を確認しながら，仲間と共に課題解決を行っている。 （行動観察・ワークシート）【主体性・積極性】
まとめ	４　次時の内容を確認し，本時を振り返る。	・グループ全員で本時のまとめを書かせ，次時からの流れを確認させる。	

（1）本時の目標

○自分たちのプロジェクトを他のグループに自信を持ってプレゼンできる。

（2）本時の評価規準

○これまでの学習をいかして相手意識を持って,はっきり発表している。

（3）本時の展開（１９・２０／３５時間）

過程	学習活動	指導上の留意点（◆支援を必要とする生徒への手立て）	評価規準 〔評価方法〕 【資質・能力】
導入	1　本時のねらいを確認し，見通しを持つ。 **目標）自分たちのプロジェクトを自信を持ってプレゼンしよう。**	目的意識　グループで調べたり,提案する「よさこいプロジェクト」の完成を知ってもらうため。 相手意識　クラスメイト,先生	
展開	2　グループごとに発表し，質問や感想を交流し合う。 発表順番 1「神楽とよさこいの特徴は？なぜ，コラボしたのか謎に迫る！」 2「よさこいのルーツを探ろう！」 3「よさこいマップづくり」 4「鳴子の秘密を探り，オリジナル鳴子を提案しよう！ 5「オリジナルよさこいＴシャツと髪飾りを提案しよう！」 6「オリジナルよさこいメイクを提案しよう！」 7「神楽よさこいＰＲポスターを提案しよう！	・発表後に質問と交流を行う。 ◆各プロジェクトの発表を聞きながら，感想・質問を評価シートに書き，それをもとに交流する。どれか１つは，必ず書くように支援する。 ・各グループの良さを具体的に取り上げながら交流させる。	・これまでの学習をいかして相手意識を持って,はっきり発表している。 （行動観察・評価シート）【自らへの自信】
まとめ	3　次時の内容を確認し，本時を振り返る。	・自分たちの発表について，他のグループの発表を聞いて感じたよさこいの魅力を自分の言葉でまとめさせる。	

（１）本時の目標

○「神楽よさこい」をかっこよく表現するポイントを整理することができる。

（２）本時の評価規準

○「神楽よさこい」をかっこよく表現するポイントを見つけている。

（３）本時の展開（２１／３５時間）

過程	学習活動	指導上の留意点（◆支援を必要とする生徒への手立て）	評価規準 〔評価方法〕 【資質・能力】
導入	１　本時のねらいを確認し，見通しを持つ。 **目標）「神楽よさこい」をかっこよく表現するポイントを見つけよう。**		
展開	２　神楽よさこいメンバー」のＤＶＤと先輩たちのＤＶＤを比較する。 ３　かっこよさのポイントを全体で出し合い，共有化しておく。	・比較して観客の視点で見ることで，体の動きに注目させる。 ・気付いたことを色違いの付箋紙で整理する。 ・全体で交流して体の動きのそろえるポイントを共有化させる。	・「神楽よさこい」をかっこよく表現するポイントを見つけている。 （行動観察） 【主体性・積極性】
まとめ	４　次時の内容を確認し，本時を振り返る。	・みんなでそろえたいポイントをホワートボードに残して，次時の練習に使わせる。	

（１）本時の目標

〇地域の方と主体的に関わりながら神楽よさこいをマスターする。

（２）本時の評価規準

〇地域の方と積極的に関わりながら神楽よさこいをマスターしようとしている。

（３）本時の展開（２２・２３・２４／３５時間）

過程	学習活動	指導上の留意点（◆支援を必要とする生徒への手立て）	評価規準 〔評価方法〕 【資質・能力】
導入	１　本時のねらいを確認し，見通しを持つ。 **目標）神楽よさこいをマスターしよう。**	・自己紹介をして，一人ずつがんばりたいポイントを宣言させる。	
展開	２　「神楽よさこいメンバー」に直接指導をしていただく。 ・かっこよく踊りたいポイントの確認をする ・見本を見せてもらう ・一緒に踊る ・グループごとに学ぶ ・指導者にアドバイスをもらう ・グループで見合う ・指導者にアドバイスをもらう	・指導者の踊りからかっこよさのポイントを見つけたり，一緒に踊りながら神楽よさこいをマスターさせる。 ・指導者２名ずつに対して５人グループを作り，質問しやすい環境を作る。 ・気付いたポイントをホワイトボードとよさこいノートに書いて次時につなげる。	・地域の方と積極的に関わりながら神楽よさこいをマスターしようとしている。（行動観察） 【主体性・積極性】
まとめ	４　次時の内容を確認し，本時を振り返る。	・グループごとによさこい指導者と共に振り返りをする。	

（１）本時の目標

〇プロジェクトリーダーの提案を理解して踊ることができる。

（２）本時の評価規準

〇プロジェクトリーダーの提案を理解して踊っている。

（３）本時の展開（２５・２６・２７／３５時間）

過程	学習活動	指導上の留意点（◆支援を必要とする生徒への手立て）	評価規準 〔評価方法〕 【資質・能力】
導入	１　本時のねらいを確認し，見通しを持つ。 **目標）かっこよさのポイントごとに意識しながら踊ろう。**		
展開	２　かっこよさプロジェクトチームを中心に，練習計画や１時間ごとの目標，振り返りを全員で確認して進める。 ・足の蹴り上げと腕一直線 ・弓矢のポーズ ・視線の統一（鳴子，正面） ・かけ声のレベルアップ ・決めポーズの統一 ３　自分たちの踊りをビデオ撮影して，修正を加えながらレベルを上げていく。	・５人のプロジェクトリーダーが提案するプログラムで練習を行う。 ・それぞれのポイントを実演しながら全体→グループ→全体で練習する。 ・５つのかっこよさのポイントを意識して踊っているかでビデオを見る。	・プロジェクトリーダーの提案を理解して踊っている。 （行動観察・ワークシート） 【主体性・積極性】
まとめ	４　次時の内容を確認し，本時を振り返る。	・ビデオで観た自分の姿を思い出させながら振り返り，次時の目標を持たせる。	

（１）本時の目標

〇先輩からもらったアドバイスをもとに自分たちの表現をレベルアップする方法を考える。

（２）本時の評価規準

〇先輩からもらったアドバイスをもとに改善策を考え，表現を良くしようとしている。

（３）本時の展開（２８／３５時間）

過程	学習活動	指導上の留意点（◆支援を必要とする生徒への手立て）	評価規準 〔評価方法〕 【資質・能力】
導入	１　本時のねらいを確認し，見通しを持つ。 **目）先輩たちからアドバイスをもらって，改善策を考えよう。**		
展開	２　文化祭に向けて先輩たちの前で中間発表を行う。 ・何人かにもっと良くなるアドバイスをもらう。 ・全員に良い点と改善点の付箋をもらう。 ３　付箋を整理して，課題に対する対策を５つのグループで考える。	・リーダーが，自分たちの神楽よさこいをどう表現したいか先輩たちに宣言した上で，先輩たちに見てもらう。 ・全員にもらった付箋紙を５つのかっこよくなるポイントごとに整理して模造紙に貼らせる ・課題の付箋に対して改善点を出し合わせる。	・先輩からもらったアドバイスをもとに改善策を考え，表現を良くしようとしている。 （行動観察） 【論理的・建設的批判能力】
まとめ	４　次時の内容を確認し，本時を振り返る。	・５つのポイントにこだわって振り返らせる。	

（１）本時の目標

○「神楽よさこい」の完成に向けて，自分たちで計画立てた練習を進めることができる。

（２）本時の評価規準

○「神楽よさこい」の完成に向けて，自分たちで計画立てた練習を進めている。

（３）本時の展開（２９・３０・３１・３２／３５時間）

過程	学習活動	指導上の留意点（◆支援を必要とする生徒への手立て）	評価規準 〔評価方法〕 【資質・能力】
導入	１　本時のねらいを確認し，見通しを持つ。 **目）本番に向けて「神楽よさこい」を完成させよう。**		
展開	２　自分たちで立てた実行プランで本番を想定して練習をする。 **５つのかっこうよくするポイント** ・足の蹴り上げと腕一直線 ・弓矢のポーズ ・視線の統一（鳴子，正面） ・かけ声のレベルアップ ・決めポーズの統一 ３「神楽よさこいのメンバー」に披露して最終アドバイスをいただく。 ・一人ずつ本番への決意を宣言する。 ・披露する。 ・指導者に感想・アドバイスをいただく。	・これまでこだわってきた５つのポイントと全体を通して全員が心掛けるポイントを出し合わせる。 ・プロジェクトリーダーを中心に練習と次時に向けた振り返りを行わせる。 ・これまで教わったことに対するお礼や神楽よさこいをどう表現したいか自分の言葉で話させる。 ・本番と同じ条件で披露する。 ・いただいたアドバイスをホワイトボードとよさこいノートに記録させる。	・「神楽よさこい」の完成に向けて，自分たちで計画立てた練習を進めている。（行動観察） 【自らへの自信】
まとめ	４　次時の内容を確認し，本時を振り返る。	・よさこいメンバーにいただいたアドバイスを本番へつなげるように振り返らせる。	

（１）本時の目標

〇自信を持って，よさこいプロジェクト２２と「神楽よさこい」を地域の人に発信できる。

（２）本時の評価規準

〇これまでの学習をいかして相手意識を持って，のびのびと地域の方に発信している。

（３）本時の展開（３３／３５時間）

過程	学習活動	指導上の留意点（◆支援を必要とする生徒への手立て）	評価規準 〔評価方法〕 【資質・能力】
導入	１　本時のねらいを確認し，見通しを持つ。		
	目標）自信を持って，よさこいプロジェクトと「神楽よさこい」を地域の方に発信しよう！		
展開	２　三中合同文化祭で保護者や地域の方に向けて発表する。 ・「よさこいプロジェクト」をポスターセッションで報告をする。 ・見学者にフリップボードで意見をいただく。 ・「神楽よさこい」を披露する。	・これまで準備してきたプロジェクトを地域の方に見てもらい，フリップボードに感想や意見をいただけるように配置する。 ・ステージで自分たちが提案したメイクとはちまきを締めて伸び伸びと演技させる。	・これまでの学習をいかして相手意識を持って，のびのびと発信している。 （行動観察） 【自らへの自信】
まとめ	４　次時の内容を確認し，本時を振り返る。	・ステージ終了後の感想文にその日の気持ちを整理させる。	

（１）本時の目標

〇これまでの学習を通して感じたことや身に付いた力を地域の中でどう生かせるかをレポートで表現できる。

（２）本時の評価規準

〇これまでの学習を通して感じたことや身に付いた力を地域の中でどう生かすことができるか述べている。

（３）本時の展開（３４・３５／３５時間）

過程	学習活動	指導上の留意点（◆支援を必要とする生徒への手立て）	評価規準 〔評価方法〕 【資質・能力】
導入	１　本時のねらいを確認し，見通しを持つ。 **目）よさこいプロジェクトを通して感じたことをレポートにまとめよう。**		
展開	２　よさこいプロジェクト２２を振り返り，学んだことや感じたことをレポートでまとめる。 ・資質・能力振り返りプリントやよさこいノートを見返しながらこれまでの歩みを振り返る。 ・どんな場面で，どんなことを考えたり，どんな力が付いたかワークシートに整理する。 ・レポートにまとめる。	・書いたレポートを神楽よさこいを指導してくださったよさこいメンバーに見ていただくことを話し，地域や地域の人々への思いを持たす。 ◆具体的な場面や思いを一項目を一つ付箋に書かせ，それをもとにレポートを書かせる。	・これまでの学習を通して感じたことや身に付いた力を地域の中でどう生かすことができるか述べている。 （行動観察・レポート） 【自らへの自信】
まとめ	３　本時を振り返る。	・レポートを掲示して，お互いの思いを知り，交流する。	